

平成30年度 第2回 三重県議会「議員勉強会」開催要領

目 的

全国各地で台風や豪雨、地震等の自然災害が頻発しており、本県においても南海トラフ地震の発生確率が引き上げられるなど、大規模自然災害への備えは喫緊の課題となっている。

本県議会においても、この6月、議会基本条例の規定に『大規模な災害その他の緊急事態への対応』を追加するとともに、現在、「大規模な災害等緊急事態への県議会の対応に関する検討会」にて、発災時の議員の行動規範等、様々な事項について検討・整理しているところである。

このような状況を踏まえ、災害時に議会や議員が果たすべき役割や取組に対する理解を深めるとともに、今後の県議会での議論の参考とする。

日時・場所

平成30年12月20日(木) 13:00～14:20

三重県議会議事堂3階 全員協議会室

講 師

鍵屋 一(かぎや はじめ)氏

(跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 コミュニティデザイン学科 教授)

議員勉強会終了後、「大規模な災害等緊急事態への県議会の対応に関する検討会」に有識者として出席していただく予定です。

演 題

「災害時における議会・議員の役割と取組」

【講師紹介】

鍵屋 一(かぎや はじめ)氏

秋田県生まれ。早稲田大学法学部卒業。京都大学博士(情報学)。板橋区にて、防災課長、福祉部長、危機管理担当部長、議会事務局長等を経て2015年3月に退職。同年4月から現職。地域防災全般、特に自治体の防災対策全般、災害時要援護者支援、福祉施設の事業継続計画等の研究に従事するとともに、内閣府「災害時要援護者の避難検討会委員」、内閣官房地域活性化伝道師、(一社)福祉防災コミュニティ協会代表理事、NPO法人東京いのちのポータルサイト副理事長等、多くの防災関連の委員を兼任され、社会活動や講演活動を通して、積極的に防災・危機管理の情報を発信されている。

